



いたしち

コミュニティ・スクールだより

令和7年度 第4号

板橋区立板橋第七小学校

校長 土性 知法

令和8年1月8日



第2回 板橋区コミュニティ・スクール(iCS)

委員会報告

開催日時

令和7年12月12日(金)

14:30~15:45

次第

1 委員長挨拶

2 校長挨拶・学校の活動報告

3 熟議

(学校評価アンケート(保護者)の結果から)

『学校評価について』

4 その他

アンケート依頼

次回日程確認

令和8年1月19日(月) 14:30~

3 習熟度・学習意欲

・習熟度低下を懸念する声があり、「なぜ学ぶのか」を子ども自身が考える機会の必要性が指摘された。

・外国籍児童への日本語指導のニーズが高まっている。

4 登校班・安全

・登校班は安全面で有効である一方、家庭事情等により柔軟な対応を求める声がある。

・登校班の集合場所など再確認する必要がある。

・通学路における交通安全への注意喚起があった。

5 学校生活・行事

・行事(ハロウィン仮装等)を通して、子どもたちが楽しく登校できているとの肯定的な声が多い。

・行事予定や時間割について、早めの周知を望む意見があった。

6 ICT・情報発信

・タブレット持ち帰りによる学習活用が進んでいる。

・情報発信が HP やタブレット中心になりがちなため、分かりやすさへの配慮が課題。

まとめ

・学校の取組に対する信頼は高く、肯定的な意見が多い。

・今後も「安全」「学び」「楽しさ」のバランスを大切にしながら、家庭・地域との連携を深めていく。

主な意見・共有事項

1 いじめ・差別のない学校づくり

・「いじめ・差別のない学校」は当然であるが、理由や背景を理解させる指導が重要

・否定的な意見は少数であり、学校としては早期発見・未然防止に取り組んでいることを確認。

・学校の取組をより積極的に発信する必要性が共有された。

2 学習・宿題・家庭学習

・宿題の量について「多い」と感じる家庭が一部にある。

・学年に応じた調整を行っており、一律ではなく家庭で調整しやすい量を意識している。

・家庭学習の目的を、学校と家庭で共有することの重要性が挙げられた。

